

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		伝統郷土芸能等支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	前田 純子
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承			所属班	生涯学習班	(内線)	1500
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10927	根拠法令	文化財保護法第 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域の伝統・文化・芸能・歴史を学ぶことを通して、郷土愛を醸成し、をれらを伝承していく後継者の育成支援(上ノ庄城山まつり・合志市郷土史愛好会・竹迫観音祭り実行委員会・須屋神楽保存会・西合志弁天太鼓保存会・須屋小屋地蔵祭実行委員会・弘生ウソ替の会・須屋太鼓保存会・黒石神楽保存会・合志町高千穂神楽保存会)を目的としている。また、伝統郷土芸能の保存・振興を図ることを目的として開始されたが、少子高齢化や、若者の都市部への流出などにより、後継者の育成や確保が困難になっている団体もある。今後、そのような団体に対して、どのような方策を取っていくかが課題となっている。
【業務の流れ】	・補助金交付に係る申請の受理・審査・交付決定・支払・交付確定。
【主な予算費目】	負担金補助および交付金(補助金)
【意見や要望】	補助金の申請者からは、財政緊縮の折補助金の削減は仕方ないが、活動がしにくくなるのが懸念されるとの声がある。また、経費的に苦しく、補助金の増額を望む声もある。また、現在、活動休止中で、補助団体の一つでもある合志高千穂神楽町高千穂神楽が再び存続の危機に直面しているため、何とかできないかという声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	・補助金交付による各種保存会等(申請があった8団体)への支援を行った。 ・竹迫観音祭り実行委員会に対して、一般財団法人沖永文化振興財団令和2年度地域文化振興助成について案内を行い、推薦した。 ・合志町高千穂神楽保存会は後継者不足により休止中である。 ・黒石神楽は、自主財源で実施とのことで、補助金の交付は行わなかった。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・前年度に引き続き、補助金交付による各種保存会等(8団体)への支援や、各種助成金の案内を行う。 ・各団体の現在(課題など)の状況を把握するため、聞き取り調査を行い、今後の支援について検討する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 団体の数	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金交付団体数	イ: 補助金交付額	各種保存会の補助金申請団体の減少による補助金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	各伝統郷土芸能等保存団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア: 各種伝統郷土芸能保存団体数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域ごとの伝統芸能や歴史的な祭等が保存・継承される	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア: 保存・継承できた保存団体の割合
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
活動している団体数を把握し、保存・継承のための支援を行う		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込	
① 活動指標	ア 団体		8	9	10	8	8	8	8	8	
	イ 円		1,714,000	674,000	751,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	
② 対象指標	ア 団体		9	9	8	8	8	8	8	8	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	90	100	80	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,714	674	751	597	597	597	597	597
		(A) 事業費計	千円	1,714	674	751	597	597	597	597	597
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	2	4	2	2	2	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	170	200	0	635	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	672	788	0	2,516	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,386	1,462	751	3,113	597	597	597	597	

事務事業名	伝統郷土芸能等支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 補助金交付10団体中、8団体に交付し活動を支援した。2団体は、補助金を必要としなかった。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 交付しなかった団体は、熊本地震の影響で活動や開催を自粛したためであり、次年度からは地震からの復興にあわせ、活動も順次再開していくものと思われるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 後継者育成のため、各団体と地元子ども会や小中学校との連携を促す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がないため
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付を受けずとも活動の継続できる可能性もあり、逆により多くの補助金を必要としている団体もある。補助金交付団体および金額の精査が必要。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限に抑えているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 郷土伝統芸能の継承活動は、地域の文化振興にも大きく貢献するため。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各団体の活動資金の一部を補助しているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

伝統文化・芸能の保存・継承は後継者の確保育成が困難であり、年々活動団体が減少しているところであるが、各団体とも当初の事業を実施することができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						